



平成23年11月7日

各 位

上場会社名 ヒラキ株式会社  
 代表者 代表取締役 向畑 達也  
 (コード番号 3059)  
 問合せ先責任者 取締役経営戦略室長 今本 清治  
 (TEL 078-967-4601)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,500	780	600	400	82.91
今回修正予想(B)	22,700	800	620	400	83.33
増減額(B-A)	△800	20	20	—	
増減率(%)	△3.4	2.6	3.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	22,410	625	409	218	45.06

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,500	600	400	82.91
今回修正予想(B)	22,700	620	400	83.33
増減額(B-A)	△800	20	—	
増減率(%)	△3.4	3.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	22,410	408	217	44.95

修正の理由

【連結】

平成24年3月期通期連結業績予想について

上半期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績状況として、通信販売事業においては販促商品の充実等により前期上半期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)に対して増収となりましたが、当初計画の売上高を確保するには至りませんでした。ディスカウント事業においても、店舗売上につき競合店との価格競争の激化や天候不順等の影響により計画には届かず、また、卸販売事業においても採算性を重視した取り組みを強化したため売上高の確保に苦戦いたしました。この結果、上半期の売上高は当初予想の売上高119億円に比較して、8億7千6百万円減少の110億2千4百万円となりました。

また、利益面については、通信販売事業での円高傾向による海外仕入の安定化に加え、出荷業務効率の改善、ローコストオペレーションの推進により大幅に改善した他、ディスカウント事業ならびに卸販売事業での粗利益率の向上による利益の確保等に尽力した結果、当初予想の営業利益・経常利益・四半期純利益に比較して、それぞれ増益となりました。

通期の見通しについて、上半期の業績と足元の経営環境を踏まえて、業績予想を修正いたします。

通信販売事業においては、気温の低下に伴い秋冬商品の受注が活発化するものと予想され、来春シーズンに投入予定の新商品の開発が順調に進んでいることから、下半期での売上増が見込まれます。また、ディスカウント事業においても、「特価商品」の仕入強化による集客増に加え、最も当社の強みを発揮できる「靴」の強化を図るため、高額一流の人気ブランドから中級大衆向けブランド商品まで豊富な品揃えとボリュームで他店に比べて明らかに低価格で商品をご提供すべく、靴売場の改装を推進してまいります。

利益面においても、自社直輸入商品の円高効果による仕入原価の安定、「靴」および「特価商品」の仕入・販売の強化等、一層の粗利益確保対策を実施するとともに、販売効率の改善向上に努め、前期下半期を上回る利益が確保できる見込みであります。

したがって、上半期の業績を反映しつつも、下半期における当初予想は維持し、通期における業績としては前期対比で増収増益の業績予想として修正いたします。

【個別】

平成24年3月期通期個別業績予想についても、上記連結業績予想の要因と同様であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上